

除菌資料 3

<<真珠腐食実験>>

試験方法：

水道水と pH 12 高機能アルカリ水それぞれに真珠を浸漬させ 24 時間後真珠の表面を比較する。

浸漬前
(真珠の表面×100倍)



pH12 高機能アルカリ水に浸漬
(真珠の表面×100倍)



水道水に浸漬
(真珠の表面×100倍)



※真珠表面に付いている汚れがとれ輪郭がはっきりとした。

※真珠の表面がただれ変色した。

考察：

浸漬液の pH は水が 7、高機能アルカリ水が 12（実験前後とも）真珠表面を構成している炭酸カルシウムの結晶は水道水中のカルキで溶解するため上記結果となる。

一方高機能アルカリ水はアルカリのため、結晶と結晶の間にあるタンパク質が侵食されて真珠の輪郭が明瞭になる。

日常生活においては真珠に対し、高機能アルカリ水は水よりも安全といえる。

18k においても同様の試験を行い、無害という結果が出ました。